



アップローダーマニュアル

Ver 2.1.0

目次

目次.....	2
brox Uploader PCアプリ	3
1.brox Uploader PCアプリの設定.....	3
brox Uploader PCアプリとは	3
brox Uploader PCアプリの接続設定	3
アップロードの設定方法.....	5
設定画面.....	5
複数のタスクを設定する	7
2.ファイルのアップロード	8
broxで保存可能なファイルの種類.....	8
アップロードの実行.....	8
アップロード状況・結果の確認.....	9
アップロード済みファイルの移動先.....	10
3.ディレクトリ同期機能(管理者アカウント限定).....	11
同期設定の作成.....	11
ファイルの同期.....	12
編集されたファイルの再アップロード.....	12
同期解除.....	13
自動設定画面.....	13

brox Uploader PCアプリ

1.brox Uploader PCアプリの設定

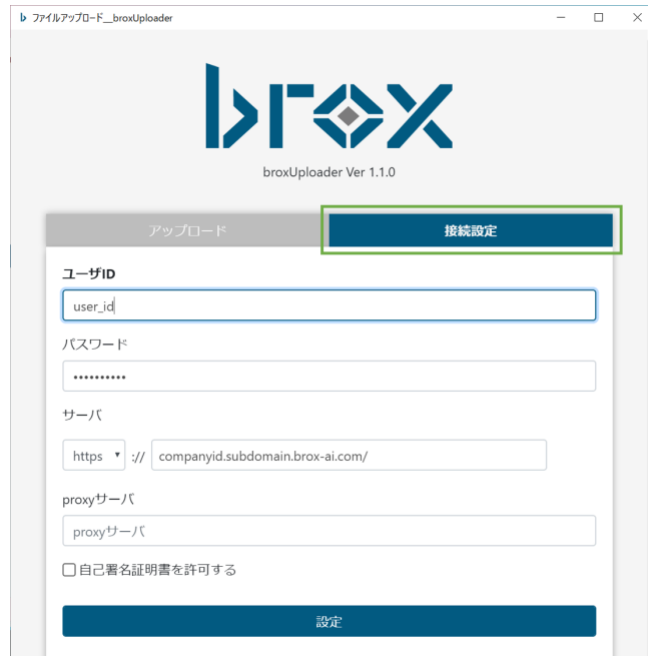
brox Uploader PCアプリとは

brox Uploader PC アプリは、パソコンへインストールする brox 専用アプリケーションです。
アップロードをしたい画像を格納するフォルダの監視をし、対象のファイルを選択することで、brox へのアップロードを本アプリケーションのみで手軽に実現できます。

brox Uploader PCアプリの接続設定

brox Uploader PC アプリ導入時に最初に設定する作業となります。
設定タブを選択し、WEB ブラウザ版と同じログイン情報を入力してください。
自己署名による証明書を使用して接続する場合、「自己署名証明書を許可する」にチェックを入れます。
(詳細は p.4)

※「http」「https」はお客様の環境に依存します。



The screenshot shows the 'brox Uploader Ver 1.1.0' application window. The title bar reads 'ファイルアップロード_broxUploader'. The interface has two tabs: 'アップロード' (Upload) and '接続設定' (Connection Settings), with the latter being selected and highlighted by a green box. Under the '接続設定' tab, there are several input fields: 'ユーザID' (User ID) with the value 'user_id', 'パスワード' (Password) with masked characters, 'サーバ' (Server) with a dropdown set to 'https' and a text field containing ':// companyid.subdomain.brox-ai.com/', and 'proxyサーバ' (Proxy Server) with a text field containing 'proxyサーバ'. Below these fields is a checkbox labeled '自己署名証明書を許可する' (Allow self-signed certificate) which is currently unchecked. At the bottom of the form is a large blue button labeled '設定' (Settings).

proxy サーバの入力は任意となります。

brox Uploader PC アプリの通信が失敗する場合、ご自身のネットワーク環境が proxy サーバを経由している可能性がございます。その場合はネットワーク管理のご担当者様にご確認ください。

proxy サーバ欄

proxy サーバの欄へは以下のようにご入力ください。

http://<ユーザー名>:<パスワード>@<ホスト名>:<ポート番号>

または

https://<ユーザー名>:<パスワード>@<ホスト名>:<ポート番号>

【入力例】

ユーザー名	testUser
パスワード	test01_23
ホスト名	proxy01.test.local
ポート番号	8080

この場合、proxy サーバの欄へは次のように入力します。

http://testUser:test01_23@proxy01.test.local:8080

ユーザー名やパスワードに記号(¥や@など)が入っている場合、URL エンコードを行ってください。

「自己署名証明書を許可する」のチェックについて

・クラウド版

proxy サーバが https を利用しており、かつ購入された証明書	チェックは不要
proxy サーバが https を利用しており、かつ自社で証明書発行した(自己署名証明書)	チェックは必要

・オンプレミス版

proxy サーバが https を利用しており、かつ購入された証明書	チェックは不要
proxy サーバが https を利用しており、かつ自社で証明書発行した(自己署名証明書)	チェックは必要
proxy サーバの利用がなく、https を利用している場合	チェックは必要

アップロードの設定方法

ここからはアップロードの設定方法についてご説明いたします。

「アップロード」タブを押下するとアップロードの設定画面が開かれます



①フォルダアイコンを押下すると、アップロード対象のフォルダを選択できます。

②自動実行をONにしていると、アプリを開いている間に選択しているフォルダにファイルが追加されたとき、自動でアップロードされるようになります。

③歯車ボタンを押下すると、自動設定画面がポップアップで表示されます。

④「フォルダ追加」ボタンを押下すると、新しいアップロード設定を追加することができます。

設定画面



1 日のアップロード最大ファイル数

1 日のアップロード最大ファイル数を制限したい場合に、その数量を入力します。

アップロード時にファイル名に文言を追加する

アップロードするファイルの名前の先頭に、指定した文言を追加することができます。

アップロード済みファイルの移動先

フォルダボタンを押して、アップロード済みファイルの移動先フォルダを指定します。

自動実行インターバル

自動アップロードを実行する時間の間隔を指定します。

ディレクトリを選択する

アップロード先のディレクトリを選択します。

デフォルトではユーザごとに設定されたマイディレクトリが選択されます。

タグを追加する

アップロードするファイルに追加するタグを選択します。（カスタムタグのみ選択可能）

追加した pdf/tiff ファイルの分け方

ファイルの分け方についての設定を選択できます。

OCR 依頼のオプション

・歪み補正を適用する

アップロードする画像に傾きや歪みがある場合、歪み補正を適用するにチェックを入れると、OCR 変換後に歪み補正が適用されます。

・自動回転

アップロードする書類が正しい方向を向いていない場合チェックを入れます。

・はしご枠結合を適用する

文字列を 1 文字ごとに罫線で区切られた表示においては、
本オプションを適用することでひとつながりの文字列として認識することが可能になります。

合計金額						
		¥	2	6	7	2 0

複数のタスクを設定する

アップロード対象のフォルダ設定は複数のタスクを設定可能です。



①タスクの新規追加ボタンの「+」を押すことで、行を追加することができます。

②タスクの削除ボタンの「×」を押すことで、行を削除することができます。

一つのタスクで設定できる各項目に制限があるため、帳票の種類ごとにフォルダを分けて異なるタスクとして設定すると、帳票の特性に合わせた細やかな OCR 依頼オプションを自動的に反映でき、読み取り精度の向上につながります。なお、設定できるタスクの上限は 20 件となります。

2. ファイルのアップロード

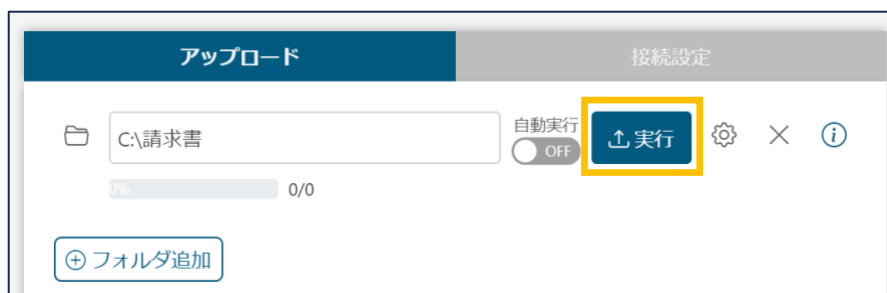
broxで保存可能なファイルの種類

brox で保存可能なファイルの種類は以下の通りです。

ファイルの種類	拡張子
画像	bmp, jpg, jpeg, png, pdf, tiff, tif
Excel	xlsx, xlsxm, xltx, xltm
Word	docx, docm, dotx, dotm
PowerPoint	pptx, pptm, ppsx, ppsm, odp
CSV	csv

アップロードの実行

アップロード画面で「実行」ボタンを押下すると、選択しているフォルダ内にあるすべてのファイルのアップロードが開始されます。



アップロード状況・結果の確認

プログレスバー上にカーソルを合わせると、現在の処理状況が表示されます。



「i」ボタンを押すことで、これまでの実行結果を確認することができます。



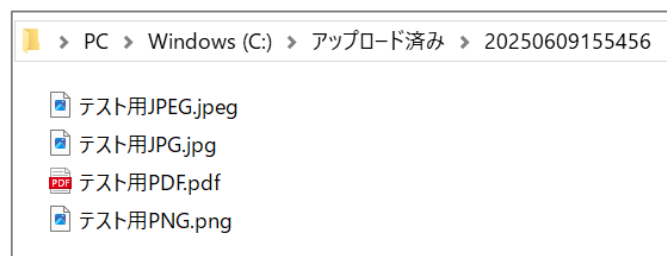
ステータスが「失敗」のファイルは、備考列に失敗理由が表示されます。



アップロード済みファイルの移動先

アップロードが完了したファイルについては、自動設定画面で選択していたフォルダ内にアップロード日時を表す名前のフォルダが作られ、その中に自動で移動されます。

移動先のフォルダを指定していなかった場合は、元のフォルダ内に Uploaded という名前のフォルダが作られ、その中に移動されます。



3.ディレクトリ同期機能(管理者アカウント限定)

同期設定の作成

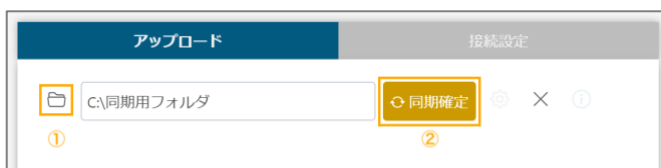
ディレクトリ同期機能は管理者権限を持つユーザのみが使用できる機能で、PC上にあるフォルダの中身を brox 上に同期することができます。

この機能を使うとフォルダの階層構成を brox 上のディレクトリに反映することが可能です。



通常のアップロード設定を作成していないとき、管理者アカウントでアップロードタブを開くと「同期フォルダ追加」というボタンが表示されます。

同期フォルダ追加ボタンを押下するとディレクトリ同期機能のための設定を作成することができます。



①フォルダアイコンを押下すると、同期対象のフォルダを選択できます。

②同期確定ボタンを押下すると、brox 上に空の同期ディレクトリが作成されます。



ファイルの同期



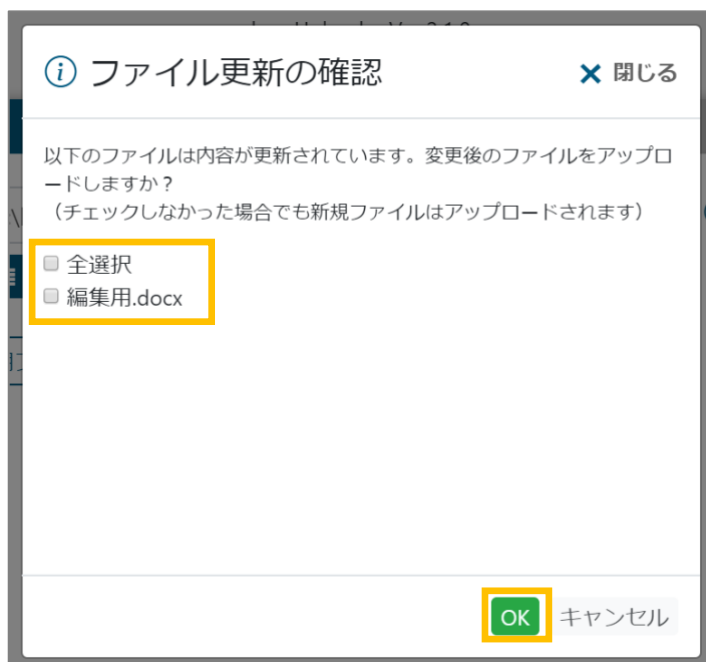
選択したフォルダの中身をbroxに同期するには実行ボタンを押下します。

同期が完了するとbrox上に階層構造が再現され、中にあったファイルも自動でアップロードされます。



編集されたファイルの再アップロード

同期されているフォルダ内にあるファイルが編集されている場合、再度実行ボタンを押下すると確認のダイアログが表示され、該当のファイルにチェックを付けてOKを選択すると、編集されたファイルをアップロードし直すことができます。



同期解除

「×」ボタンを押すことでフォルダの同期を解除することが可能です。

同期を解除した場合、brox 上に作成された同期ディレクトリは通常のディレクトリとして使うことができるようになります。

ただし、既に同じ名前を持つ通常のディレクトリがある場合は同期を解除できないのでご注意ください。



自動設定画面

「ディレクトリ同期機能では通常のアップロードとは異なり、アップロード済みファイルの移動先やアップロード先のディレクトリなど設定できない項目があります。

自動設定		×
1日のアップロード最大ファイル数		
タグを追加する	タグ追加 ▼	
追加したpdf/tiffファイルの分け方		
☒ ファイルをそのまま保存する		
☐ ファイル内のページをすべて分割して保存する		
OCR依頼のオプション		
☐ 歪み補正を適用する		
☒ 自動回転		
☐ はしご枠結合を適用する		
OK		キャンセル